

東漢書
卷之十
傳

海

へ13
3019
2





文政拾陸丁亥

通油町鶴屋

喜右衛門
開設

傾城水

許傳

三編

馬琴作
國安画

傾城木洵傳 第三編之二

仙鶴堂嗣梓

抑這個月小齋也青嵐の青柳が峯より峰より登るそとろふ山の虎葉
曲亭馬琴著 浪や近の淡海の鎮果あわさる日本の深山泊
叔尔後から虎尾の接戸が香る雪の宿まうのわ 引の山の落葉
秘得う山を抜く 粉蝶が袖より袖へうまらる野宿の乞児娘
歌川國安画 のが散る浪速津の邑長を多の勇婦が聚義堂
謀獲う底深死智海の具竹が船より こそ入水と細引の女兄弟

近洲伊香郡一座の山の俗小を志津嶽と喚傲しうの山琵琶
湖と面み余吾湖と背みしう只これのみふ 余吾飯浦の二大河
の山山後と相遠りその末越前ある板敷の方まはるの山鳴峰をねだ
その景勢又唐山の梁山似てん吹りて今この冊子に作設く彼れ擬し
近世寒葉齋綾足本朝水滸傳を著し近江の某の山とて梁山泊とせし
故事の月日とて瀬竹生嶋長命寺の嶋々をてせしう皆神仙の天地
の事あるも梁山百里ののと廣なる仙遊のうへをまはるかものれ予も亦此意の
三頁の強を總て烈女の變を易く亦勸懲の一端なり那時鎌倉の政子の京師
の龜菊の女主と内奉より支起りて終る美久の乱に至りてこれの時方て
義婦烈女の薄命なるを水滸の書小摸擬するのう婦人の恰好愛を
如くの多るるを中からその附く又續本第三編の自注と自叙と代ると如此也
文政十丁亥年 春正月吉日新版曲亭馬琴識 馬琴

青山風の青柳

向不むふみ看み
城しろ索さくの

名取川牙とて
 漆もあるを
 赤がらうを
 ここのちを
 せん



とちろ
豆力の粉蝶

智計海の
呉竹

天地と
海と
智恵
の
あはれ



賽博士巨綸

天津雁真弓



直蜚の指妻

赤頭の
味鬼



澄むる
落てあふ
後
入



[illegible]

[illegible]

This is a black and white illustration from a Japanese woodblock print. It depicts a woman in a kimono standing in a garden, looking towards a building. The image is surrounded by vertical columns of Japanese text. The woman is wearing a kimono with a circular emblem on the chest and a patterned obi. She is holding a fan. The background shows a garden with plants and a building with a lattice window. The text is written in vertical columns, typical of Edo-period book illustrations.

けしき
三編



馬琴作
國安画

梓廟堂鶴仙

馬琴著

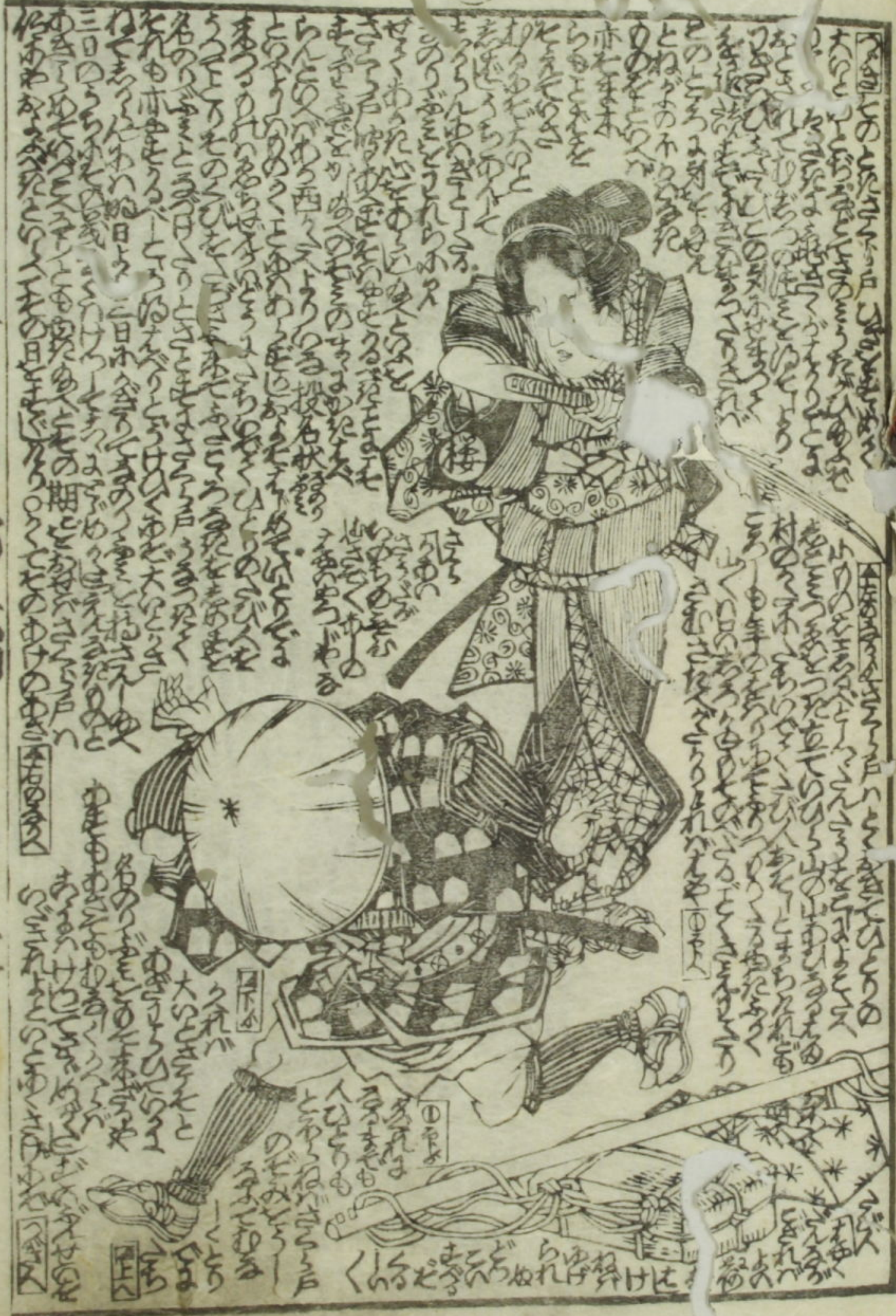
文政丁亥嗣刻
全稿八卷合本

仙城多許傳
第二之篇
其

國安画

本町筋通沖門
鶴屋喜右衛門

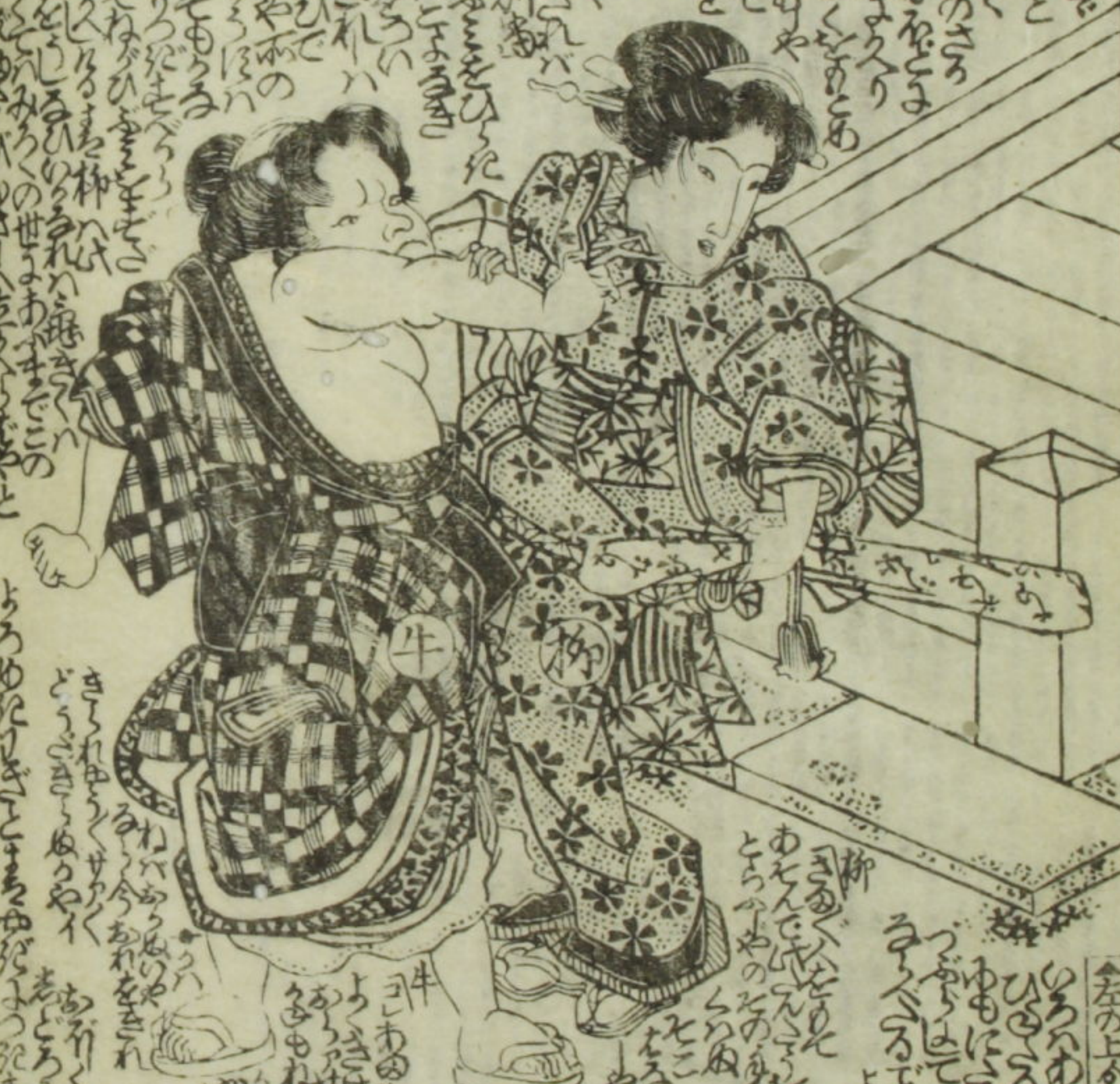
三

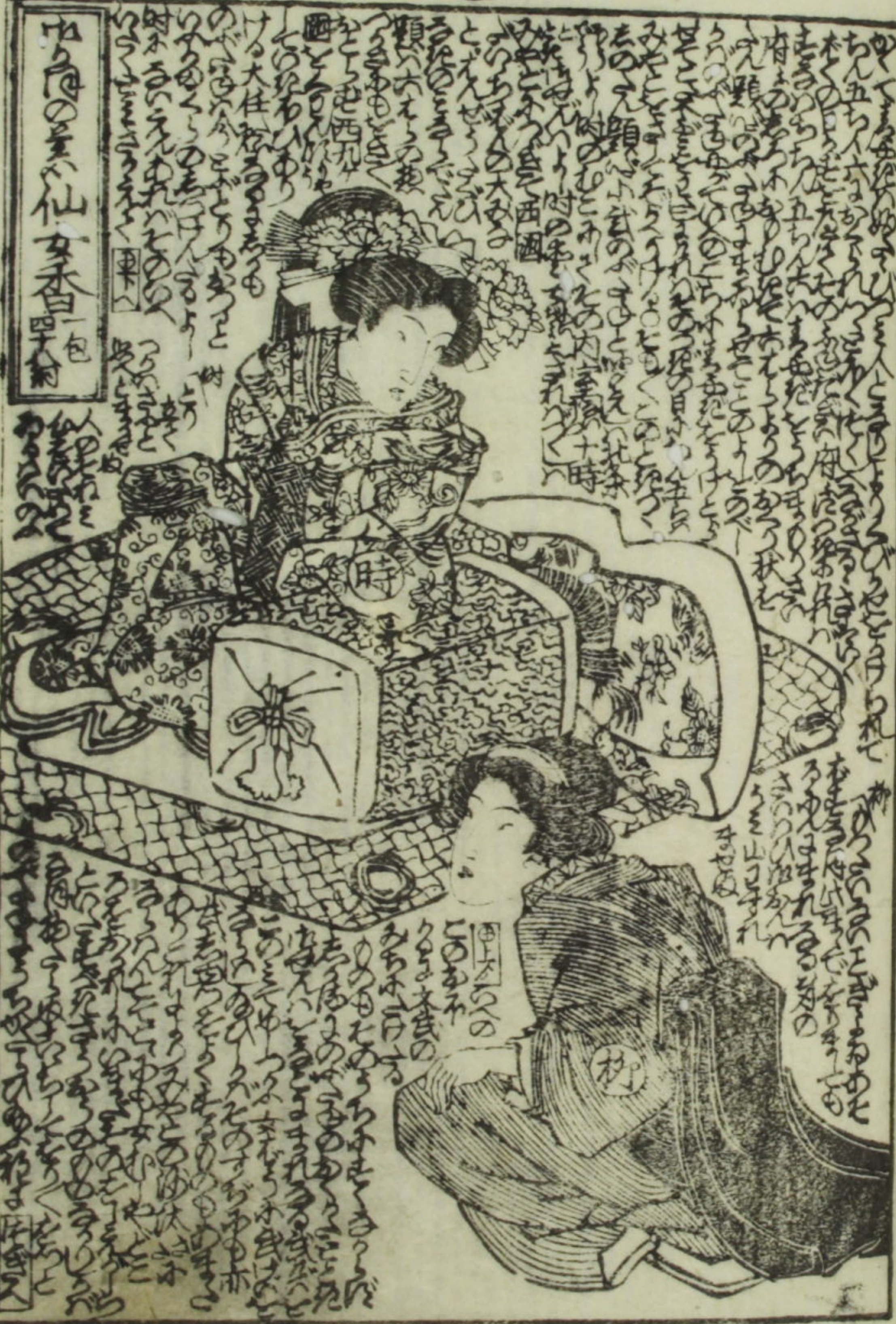




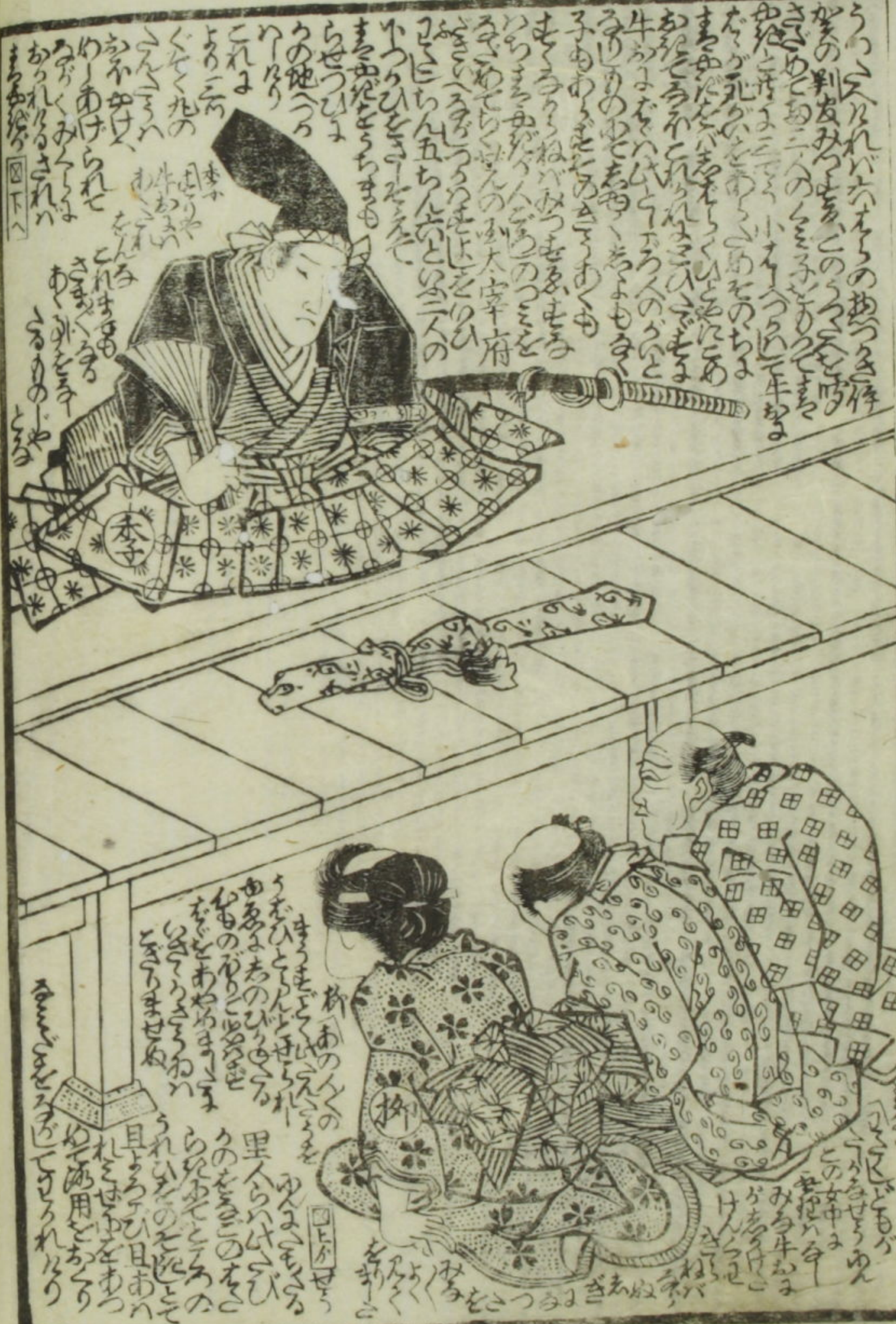


さう戸へあづのとりぞを
まゐりてすもむつたのりちと
るぬえあや西のゆきと
まげのうらふあやうてめがさ
みせを七すめりける。さるねとほ
まもはひ日もちまみをこころう
つれて路中かみやくまをもくどろあ
いさもてのあで女むしや
雨のうねめよりうなやとて
あふえんはつた七のまぢを
りためつたまふす。
るお花あめさまりてか
かつかよふびだせまう
わがひるさをさけけるさへば
もなきく女むしや雨の別あ
さされいまもたうわがひるさをひ
きて大さのりあやういとま
わうちとによりてみやまうい
ゆるせうれふともかさこれ
わゆくはさ泥舟のさのひで
あふさすその上てむしや雨の
うねめよりこまんどううに
るまをいじねがひとてもうな
りぬえあやまのひてとりつたま
ざとあふまそものよりそわがひま
まといはたさてくらくなるま
よをうへてのそめをしる
望みのどいあくるうてみる
舞のねがひなるあやうに

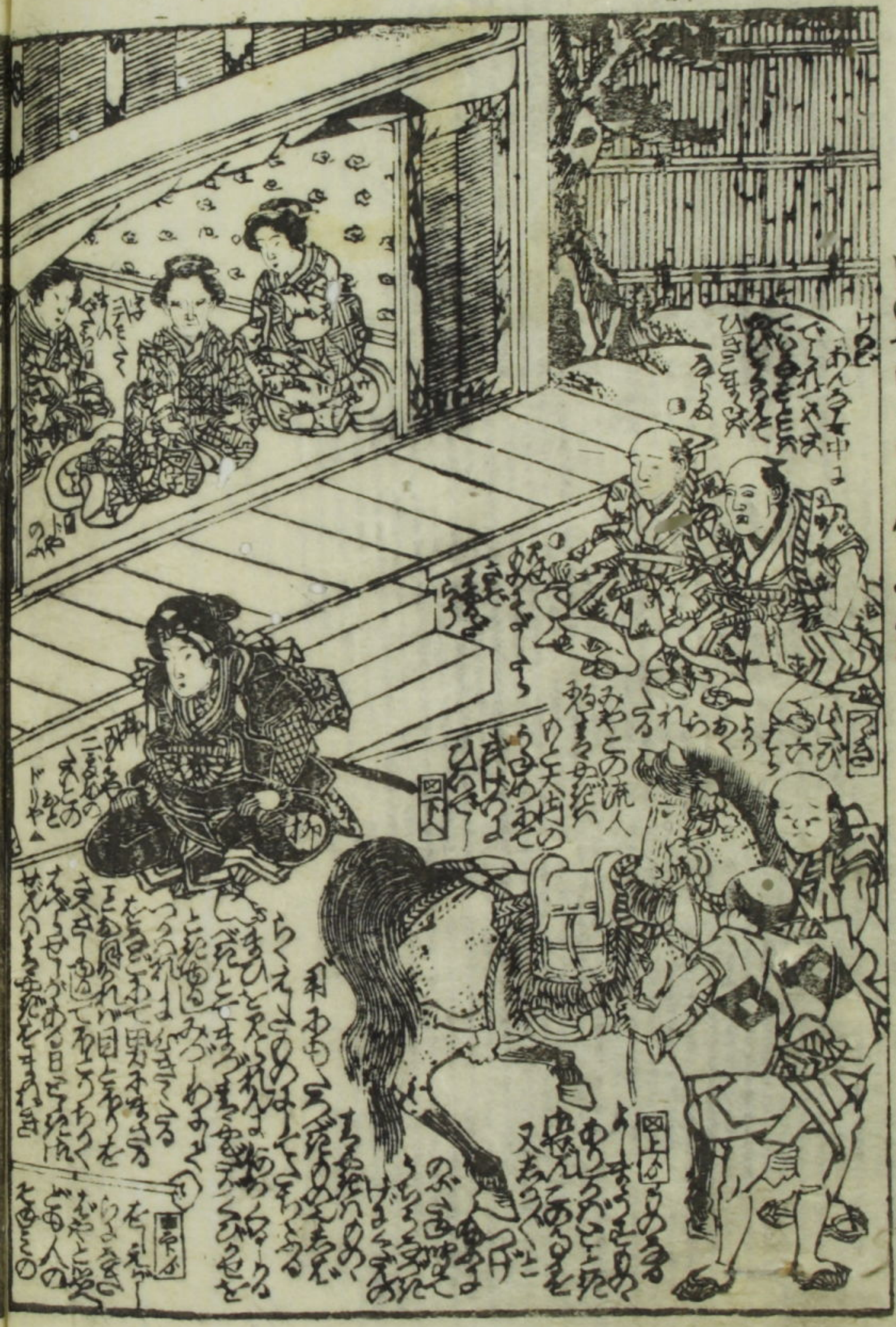
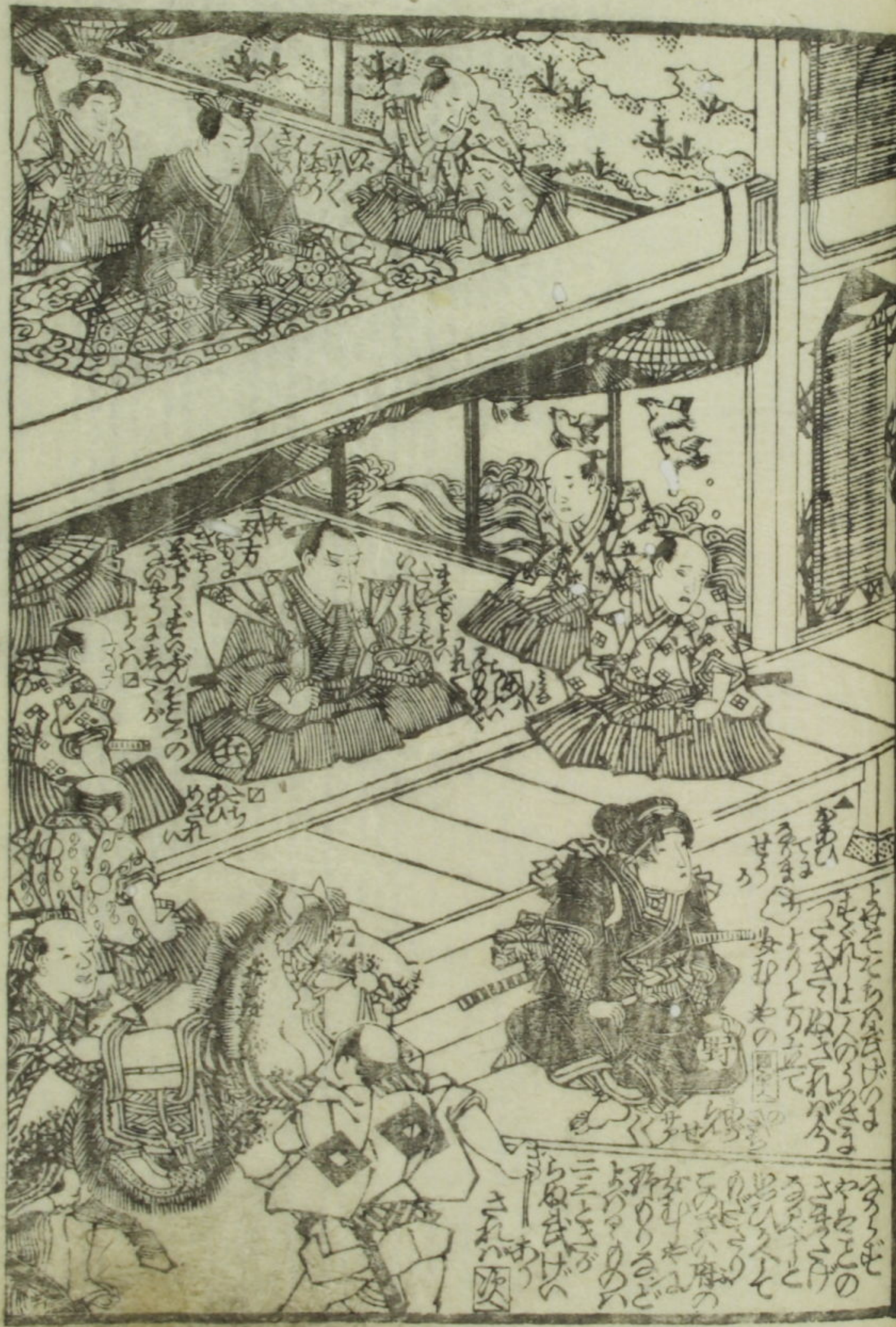
[illegible][illegible][illegible]



仙女香包



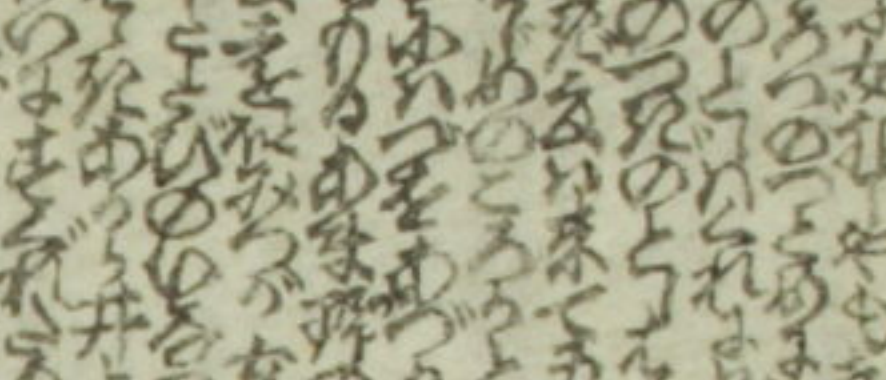
仙女香包



いふまゝのこゝろ三

十一

家傳神女湯神女湯 一包代百病
 精製奇應丸奇應丸 一包代五病
 熊胆黑丸熊胆丸 一包代五病
 婦人秘製丸婦人丸 一包代五病
 製茶清神丸製茶丸 一包代五病
 弘明元陽丸弘明丸 一包代五病
 取次所取次所



三、卷筆畊 千杉仲道
四、卷筆畊 谷 余川

還魂紙料 古画入二冊出来 素中 柳亭種彦隨筆

戲筆遊言画手本 一名 鳥羽繪早中び果

廣益懷中早割大全 一冊 本ありあけを各とくひ使利をいねにてあまを

新形添彩目 植花手引 前編 後編 一冊 一冊 前編 後編 一冊 一冊

芝居似顔早稽古 後編 全冊 五渡亭國貞画

役者似顔早稽古 後編 全冊 五渡亭國貞画

藝品定役者評判記 三冊 柳亭種彦

懷寶心化乃都路全 一冊 柳亭種彦

傾城水滸傳三編 八冊 柳亭種彦

弓削道鏡譚 六冊 柳亭種彦

鎌倉山黄金平代鶴 六冊 柳亭種彦

美艷仙女香甲 柳亭種彦

戲場長 柳亭種彦

小録長 柳亭種彦

嗚呼忠臣夜光珠 五冊 柳亭種彦

忠臣藏 伊呂波引寺 柳亭種彦

外傳 伊呂波引寺 柳亭種彦

道外武者太平樂 二冊 柳亭種彦

有喜世諺草 二冊 柳亭種彦

金子歌夢之世話 三冊 柳亭種彦

義經與軍 柳亭種彦

四天王其源 五冊 柳亭種彦

菅原實傳記 五冊 柳亭種彦

伊達模樣廓寛濶 五冊 柳亭種彦

伊達模樣廓寛濶 五冊 柳亭種彦



大政丁亥桐梓

似城すゑ大傳

國安画

鶴喜版

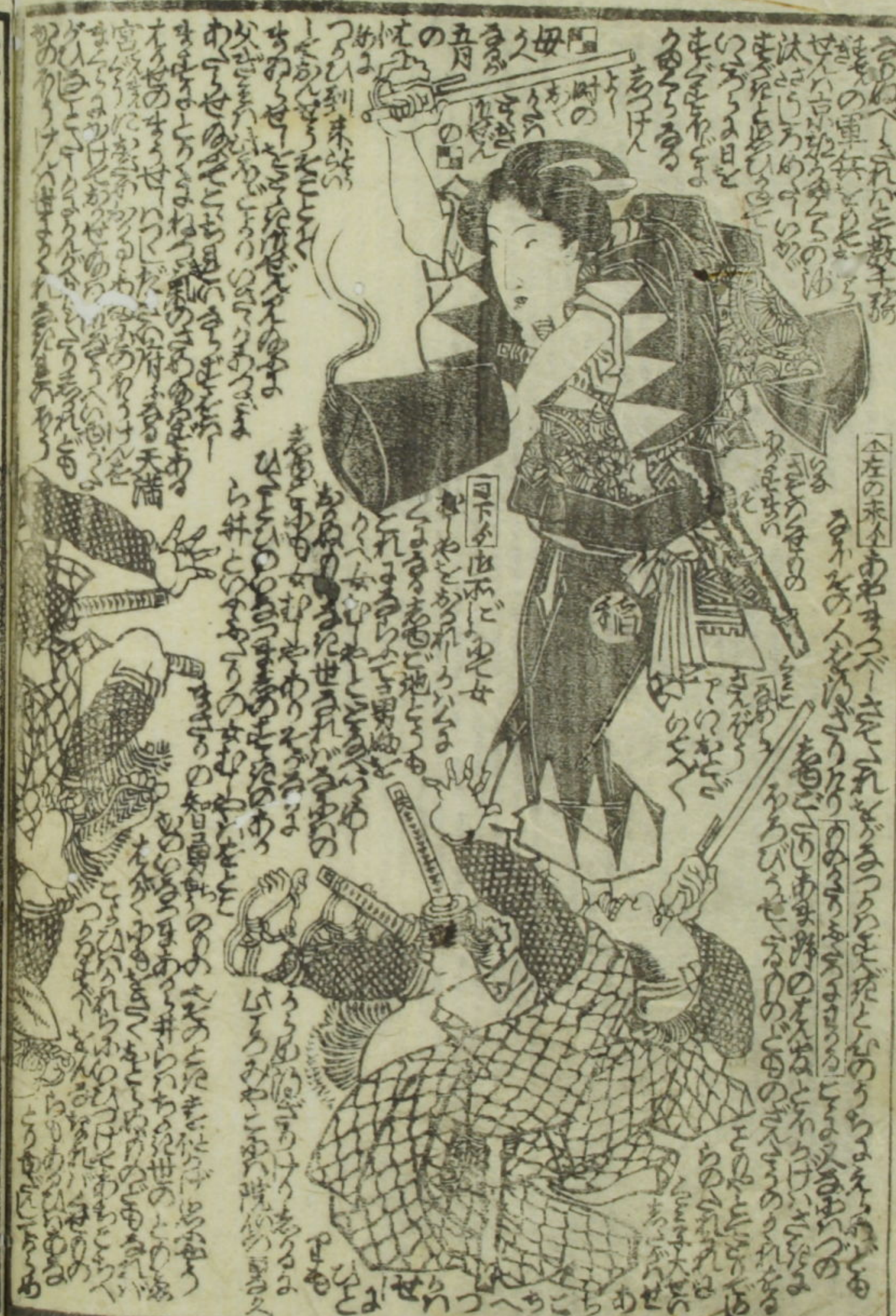
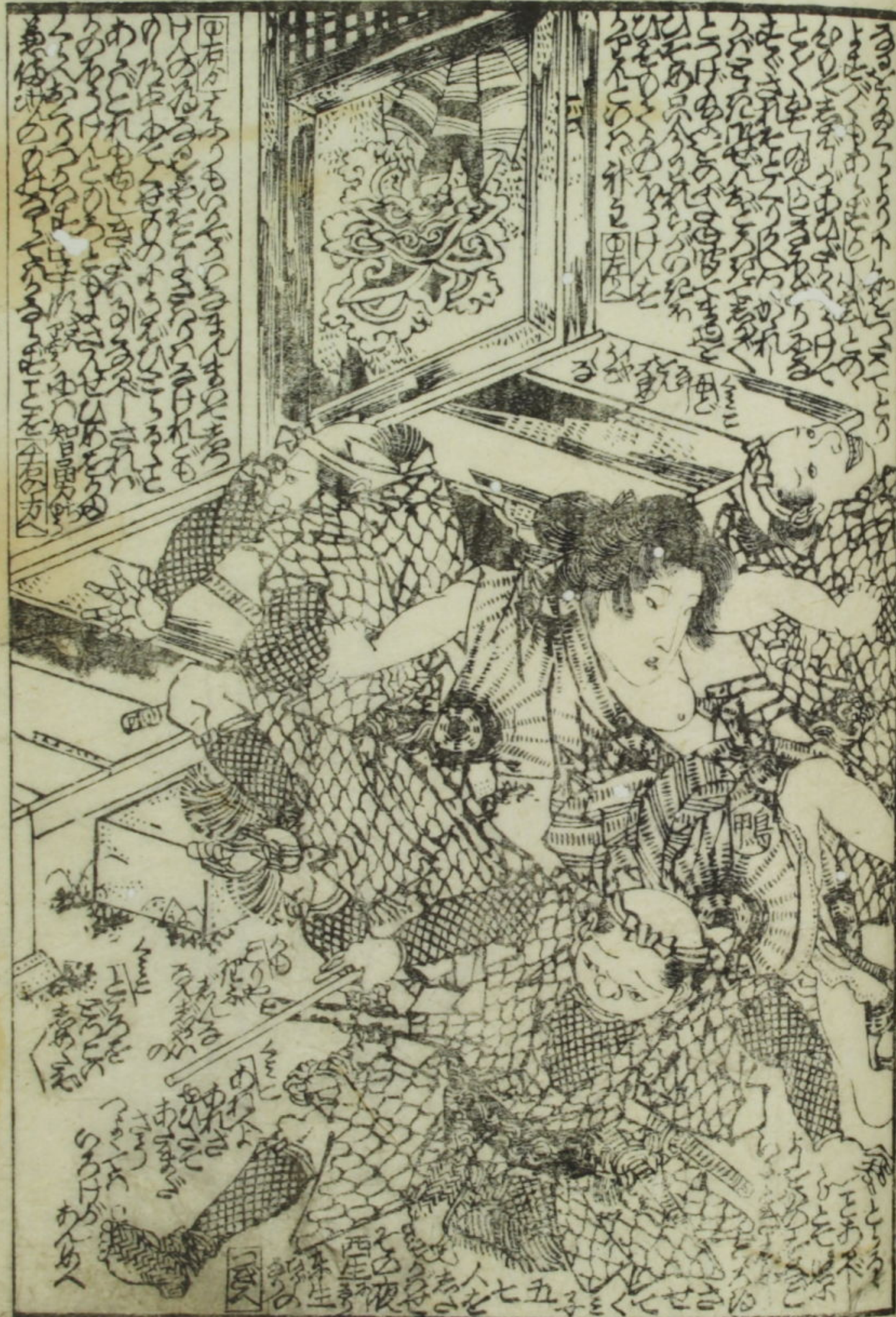
三編
三

四つ子
うち五
きびく
とまに
おたて
三人の女
をもちけ
おたとく
ふるとく
ふるとく
しあか
はめえ
とまに
いとち
うしろ
木々の
よるあ
ひより
ひさま
ひさか

[illegible]

廿二

天啓元年



七



世

七

婦人讀書指南

氣はさすいけふさふさふ

ありあけのいづこへもさする人なればそのまゝの味
味のいぢりてなりぬふはあきなりともくちあつた
とあてをうまいとが死たうと云ふたとの事なれども
わうあるそとの風はわづらひあめぬかきしよといふ
くふて又晴の小波のせき人をのびてせんせむと
ふつるかろつらん
月をかり且
一す所の舟を
上れるものおの
にあらざる月を
有するものあり

甲斐
 国左衛門
 久々のひめ
 うきえと
 られへと
 上田

[illegible]

文苑英華

七

ことごとく
これみゆきて
ふかひまゐる
わじとく
わじとく



七

申上の金に、年ひありよりあるまよけりと云うところ
味なりと云ふのそとをさうするそのかきあうの
たまげと云ふものゝ色をくひひびをあらせて
さかたせしむる小てなかくともひびを利をぬぐのみす
一つもそれ外なきはなりゆきてかれ井いこの日あつた
え
おとこ

[illegible][illegible][illegible]

下々井



つゝあやとて
七つものうち
けんぞうのう
のうとてみ
あちこちと
まはさすこ
ありきとて
うけとて

下れり
おれり
ふり
ふり
ふり

三

和泉屋市女

香波海花

香波海花



馬琴作

画

傾城水滸
傳
三編
四

鶴堂

仙女香をくぐりてわかく
うきをえたり

あやあや
松あざりより
あはれ
ものうき
さう

くまがはのひれいん



名を尋ねてはなむとてきき
 らひてとてふとてふとてふ
 のまききききききききき
 名を尋ねてはなむとてきき
 らひてとてふとてふとてふ
 のまききききききききき

[illegible]

左
 うちむらひ正
 なまうけやよすり
 まれんあつものあまじうへ
 ちちてえ人をめあふぬ

[illegible][illegible][illegible][illegible]

卷二

[illegible]

卷之七

[illegible]

此の山は、
 一石孤
 雲雨来
 時萬山孤

卷五

[illegible]

This woodblock print illustration depicts a scene from a Japanese narrative. The central figures include a woman in a dark kimono seated and holding a box, a man in a dark kimono seated to her right eating from a bowl, and another man in a dark kimono seated in the foreground looking down at an object. A woman in a patterned kimono stands in the upper left. The scene is surrounded by vertical columns of Japanese text, which are part of the book's content. The illustration is signed 'Koban' in the bottom right corner.



A detailed illustration of a samurai in a dynamic pose, holding a sword and a scroll. The samurai is wearing a patterned kimono and a haori. The background is filled with vertical text columns. The title '馬琴作 國安画' is prominently displayed on the right side.

家傳神女湯治湯治の湯 百代百病
 精製奇應丸湯治の湯 百代百病
 能治黒髪湯治の湯 百代百病
 婦人湯治の湯 百代百病
 弘所湯治の湯 百代百病
 取所湯治の湯 百代百病

言
 栗
 田
 谷

敬年十月下旬頃より臺榭の
御匠文致修付て来下候

全一冊 南山禪師書
石印 李和文章

新日本名所之繪 唐紙摺一枚 蕙齋鋏形 紹真筆

新女古狀園生作大紙本西品出来高川蘭山編撰

三國一夜談 全五冊 画入讀本 曲阜馬琴作

即考百籤全二冊

筆玄同放言初編二編共三編第三編三冊刻

[illegible]

柳亭彦隨筆

放卜所^ハ所^ニ賣^ルの^ハ佛^ノ佛^ノ乃^ハ向^ニ解^ル常^ノ書^ノの^ハ終^ル多^ク是^レは^ハ名^ノ冊^ノと^ハ用^ニて^ハ考^ス次^ニ
附^クく^ハ復^タ難^シ案^ノの^ハ入^ルる^ハと^ハ書^クハ^ハハ^ハと^ハ終^ル乃^ハ賦^ル一^ノの^ハ一^ノ

遊言画手本 一名鳥羽繪早口多八集

廣益懷中早割大全小本なりし者、此と別ひ、後をいねじて、要するを
一冊とす。是の切、まゝに考へ、ものなり。今、まじく
上と通うとせざるを、いみじく、等とあり

新形添彩目
植花手引糸 前編 葉田里三の著する名立花と装束
前正齋爲一筆後編 國利生主君ふじさとしとてし。片足なり

芝居似顔おかしな顔早はや稽古けいこ後編
全一冊五渡亭南員画おのゝりえ画えのなかに、さきよりねを、
も、足金、上、男へ、三、は、あり

三箇之津と文者と批判記と全と後復著者の元元編纂より送附せし書、底本に
本入品所、同外、成華中三の、言判明細、

[illegible]

實乃都路金

傾城水滸傳三編八回 道外武者太平樂二回 西

弓削道鏡譚一巻全九作有喜世談草同 川 画
六州迷子室史方需文 同 川 画
戀川春町作

鎌倉山（きんぐらやま）黄金（きんご）は千代鶴（せんたいかく）六冊（むく）金（きん）を敵夢之世話（てきむのよはなし） 同二冊 同作

哥川國安通

 岩名物
 錦旗階
 園扇
 地紙問屋

戲場あそびば長なが壁かべ譚だん六川むつせん義經よしきよ譽うた孔軍くうぐん扇あふぎ五柳ごりゅう直ちく德とく升しょう作さく

嗚呼（音）忠臣（音）夜光珠（音）四天王具源（音）畫作

菅原實傳同記同五冊

外傳伊尹五渡亭國貞風伊達模樣廓寬闊同五冊畫作



市
本
標

市
本
標

市
本
標

市
本
標

市
本
標

